



やなぎっ子

さいたま市立片柳小学校

TEL 048-683-3174

FAX 048-683-8971

<http://katayanagi-e.saitama-city.ed.jp/>

嫌いな人の長所を探そう

校長 萩原 哲哉

今、「鬼」と言えば、大ブームになっている「鬼滅の刃」。漫画は決まった作品しか読んでいなかったのですが、あまりの評判に手に取ってみました。登場人物の名前が難しい漢字で閉口しましたが、先へ、先へ、読み進めたくなる魅力がありました。特に主人公が退治した鬼側のドラマ・ストーリーが、大変丁寧に語られていることなどは、評価されている点でしょう。そういえば、こんな詩があることを思い出しました。中田喜直氏（さいたま市立小中学校の校歌もたくさん作られています）が曲をつけて、童謡としても歌われています。

鬼が島の鬼の子は / やっぱり夜ふけに泣くのです
こわいよ かあちゃん / 桃太郎がきたよ
はちまきしめて / のぼりもたてて
ガッパ ガッパ ガッパ ガッパ / 海からきたよ

（「鬼の子守唄（抄）」 阪田寛夫）

「鬼滅の刃」と共通するのは、鬼側、すなわち「悪者とされている側」からの視点で描かれていることです。ヒーローの代名詞的存在である桃太郎でさえ、鬼の子どもにとっては、自分の親にひどいことをする「怖い存在」であるわけです。

「勧善懲悪（かんぜんちょうあく）」という言葉があります。文字通り、「善（よい行い・人）を勧め、悪を懲らす（こらしめる）」という意味で、時代劇や西部劇、SFで言えばヒーローもののストーリーなど、多くがこの「勧善懲悪」で進み、「正義は勝つ」で、締めくくられます。主人公が地球を侵略するインベーダーから地球を救ったり、身分を隠した偉い人が、悪代官をやっつけたり。見ている人は虐（しいた）げられている側に同情し、悪者に怒りを感じながら見ているので、最後にそれがやっつけられると、気分爽快、スッキリします。

でももし、悪者側からの視点でストーリーが進められたらどうなるのでしょうか。

悪い行いは、もちろんいけません。人に迷惑をかける、人のものを取ってしまう、人を傷つける、..どれも反省を求めべき行為です。ただここで、少しだけでも思いを致したいのは、悪者とされた人が、何から何まで悪い人ではないはず、ということです。鬼ヶ島の鬼のように、人々を苦しめ、悪いことをしてきた鬼も、自分の子に対しては、優しい父親・母親であったのでしょうか。

ニュースや新聞などは、本来、事実を伝えるものです。しかしそれだけでは終わらず、それに解説を加えたり、自分の意見を述べたりする場面が、多くなってきているように思います。その発言は、一つの見解であり、考え方ですから、尊重しなければなりません。怖いのは、その意見を鵜呑みにして、「そうか、あの人は、そんなに悪いことをしたのか。」と、自分自身の考えにしてしまうことです。「ニュースではああ言っているけど、どうなのだろう。」と、自分で考えることを、ぜひ行って欲しいと思います。

さいたま市では「クリティカル・シンキング」という言葉で、「自分の頭で考え、その考えを自分の言葉で適切に表現する子ども」の育成を目指しています。人に対してのことで申せば、自分が「あの人は嫌い！」と思った考えを、もう一度考え直してみる、ということがこれに当たります。もしかすると、「嫌だ・嫌いだ」と思っていた人の、長所が見つけられるかも知れません。

ウイルス感染によっていろいろなものがささくれ立っている中、「人が・人を想う気持ち」を大切にし、再燃させていきたいと思います。